

秘密表示 (朱印)

部 数 指 示	飛信用	執務用	備 考
主 信	1	1	2
付	その封封付		
図			

発 送 日	昭和47年9月14日
処 理 日	
発 信	検査

文書課長

公 信 案

公 信 番 号	經協2	第 1517 号	公 信 日 付	昭和 47年9月14日
大 臣	政 務 次 官	事 務 次 官	外 務 審 議 官	外 務 審 議 官
官 房 長	主 管	起 案 日	昭和47年9月6日	
	經濟協力局長			
	次 長			
	参 事 官			
	經濟協力第二課長			起案者 局長 電話番号 2591
送 附 先	政 策 課 長	北 東 ア ジ ア 課 長		
受 信 者	在 韓 国 後 宮 大 使	発 信 者	大 平 大 臣	
写 送 付 先		( 希 望 発 送 日 )	9 月 13 日	
件 名	合成ゴム研究所及び赤十字病院並びに に対する無償協力要請			

GA-2

14 174

外務省

回覧番号

250

\* 秘密標準 (赤色)

経協2 第1517号

昭和47年9月14日

在大韓民国大使殿

外務大臣

(件名)

合成ゴム研究所及び赤十字病院等  
に対する無償協力要請

引用公・電信  
日付・番号

1. 去る8月17日在京韓国大使館吳書記  
官は、<sup>経協の局長</sup>経協(三課(杉野))を来訪し、本国政  
府の訓令に基づくとして韓国の合成ゴム  
工業振興のため、科学技術院(KIST)  
内に合成ゴム研究所を設置する計画に

※ 付属添付  付属空便 (行)  付属空便 (DP)  付属船便 (貨)  付属船便 (郵)

(※印は文字課記入)

対し、所要機材50万ドルの無償協力が  
要請されたが、これに対し、当方より要旨  
次のとおり回答した。(先方提出資料別添)

(1) 48年度予算の要求方針は既に確  
定しているので、49年度以降の検討の対  
象としない。

(2) 本件は、特定の工業分野を対象と  
した研究所と考えられるので、通常無償  
援助では取り上げにくい計画である  
という印象である。既に韓国政府からは、  
ソウル工科大学の他にも国立ガンセンタ  
ーに対する協力要請案数件の要請が  
提出されており、49年度において、  
その全てを取り上げることは、不可能で  
あるので、いずれ韓国政府として何れに

プライオリティをおくか何う必要があると考  
えられる。

なお、本件については、日本合成ゴムを主体と  
する日本側の援助体制は整備されつつある  
やに見受けられ、日本合成ゴムよりも、本件援  
助を政府として取り上げらるるがにつき非公  
式に<sup>も</sup>打診越している。

又、また、本月6日 吳書記官は、加藤経  
協ニ課長を訪れ、韓国赤十字病院及び  
血液センターの改善、拡張のための医療機  
材588千ドルの無償供与について打診  
越した。我が方としては、本件要請を韓国  
側が無償経済協力の対象として考えて  
いるか技術協力の対象として考えている  
か判然としない真があるので、その真を

4

明らかとするよう要望するときは、正式  
援助要請は、貴館を通じて行なうよう  
回答をお願いす。

16日(金) 17日(土)

19日(月)

20日(火)

本  
十

相

16日迄  
局長支償

金

大使の法務部次官時代の次官

外務省 次官

厚斐大臣 表敬

大和回向長

99306